

奄美テレビ放送株式会社 番組審議会議事録

開催日時 2015年2月27日(金) 12:00~14:00

会 場 アマミテレビ2階 会議室

▼出席者

番組審議員：花井委員、重信委員、金井委員、元野委員、美佐委員

アマミテレビ：社長、専務、担当者

▼番組審議

① 島ワイド情報バラエティ ユムグチ 800 平成27年2月放送

- ・ 番組内での告知や新聞解説などは良い。
- ・ 地震、災害等奄美に関わる事は緊急告知テロップで流しているが、情報収集範囲を広げ多くの即時性情報を扱ってはどうか。  
→昨日、今朝起きたニュースをお昼に放送で速報できる体制を整え、報道の即時性に向け、業務改善中です。
- ・ ニュース番組が5分枠なのでもっと長い番組にできないのか？イベントに報道が取材に来ているのに放送が短いので出演者からすると寂しい。  
→番組尺を長くするには、編集作業効率などの改善を含め今後の課題です。
- ・ このような番組作りでアマミテレビのコンセプトが出てくれば地方紹介番組として生きていく。

② トーク番組 シマ・トーク 奄美の高齢化を考える 平成27年2月放送

- ・ 介護、新情報など濃い内容で番組として良かった。
- ・ 若者による島ぐちトークは、第二のほっとけトークとして高齢者から若い人へのバトン渡しとなる番組。
- ・ 島ぐち(奄美語)は、地域性があり、広すぎるので扱いが難しい。毎回ことばの地域を変えることにより評価を得ていく。色々と番組のやり方はあるが、島ぐちは文化として残す方向になっているので、やり方によっては面白く良い番組になる。

③ トーク番組 ほっとけ トーク 平成27年2月放送

- ・ 収録を月一回にしたことにより、番組の放送期間が3週間となるケースがあり、同じ番組しか流されていないと思われる。  
→番組企画の調整が出来る方を中心に更新本数を増やす方向で調整する。

報告事項

スペースシャワーTV「光点減事案」について

社長より、番組提供事業者から提供を受けて放送した番組(平成26年12月1日から平成26年12月24日までの期間)において、番組基準に抵触する光点減等の映像手法が用いられた事案について概要を報告した。